

## 当院では以下の研究を実施しております。

この研究は、通常の診療で得られた過去の記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

## 気圧の変化と小腸イレウスの発症との関連性

### 1. 研究の対象

2018年4月～2024年12月31までの間で、東京品川病院に小腸イレウスで入院された方。18歳以上、男女不問

### 2. 研究目的・方法

小腸イレウスの発症が数日前からの気圧の低下、低気圧と関連している可能性についていくつかの報告がありますが、十分に確立された報告はありません。小腸イレウス発症前の気圧の変化、気圧と、発症していない時期の気圧の変化、気圧を同じ患者さんで比較することで(Case-crossover design)、気圧の変化の影響を検討することができます。

2018年4月1日から2024年12月31日までに小腸イレウスで入院されました患者さんを、カルテを参照し後ろ向きに調査を行います。通常の診療で、医療者が以前に記載したカルテ情報を研究に用います。

本研究は、2027年3月31日までを予定しております。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象となった方のカルテ情報から、カルテ番号、生年月日、受診時の現症、既往歴、薬剤内服歴、血液検査所見、治療内容、臨床転帰(偶発症、死亡)などの情報を研究に使用させていただきます。

### 4. お問い合わせ先

個人情報保護に研究参加による不利益はありません。この研究に関わって収集される情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。また参加に関しては自由意思によるものであり、拒否しても不利益は生じません。あなたの情報・データ等は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、どなたのものか分からないようにした上で、管理責任者が、院内ファイルサービス内にパスワードロックをかけたエクセルファイルとして保存します。研究終了後の資料は個人情報を削った状態で引き続き保管されます。研究協力の意思の撤回は自由です。認知機能が低下している方や、既にお亡くなりになられている方につきましては、ご本人の意思確認は困難ですので、ご家族からの研究参加拒否の意思をお伝え頂くことも可能です。また、この研究のためにご自分のデータを使用してほしい場合は主治医にお伝えいただくか、下記の連絡先まで2025年3月末までに御連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で、学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては、論文または学会発表後お問い合わせがあれば開示します。ご不明な点がございましたら主治医または下

記の連絡先へお尋ねください。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。特に患者さんに新たに費用をご負担いただくことはありません。謝金はありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

社会医療法人社団東京巨樹の会 東京品川病院

住所：東京都品川区東大井 6-3-22

電話：03-3764-0511（内線 6580）

研究責任者：消化器内科 石井直樹

（2024年12月26日作成）